

CREATE-SIMPLE ver 3.1.2

- サービス業など幅広い職場にむけた簡便な化学物質リスクアセスメントツール -

- 説明 -

- リスクアセスメントとは、労働者の安全や健康への影響について評価をすることです。
- CREATE-SIMPLEは、労働者の健康（吸入・経皮）への影響と物質の危険性について評価し、対策の検討を支援します。
- SDSを確認して対象物質を決定し、以下のSTEP1から順番に入力してください。

No. 1
実施日 2025/11/25
実施者 明石

【STEP 1】対象製品の基本情報を入力しましょう。

タイトル	業工労働者のリスクアセスメント						
実施場所	各加煙試験現場						
製品ID等	評27-0001-1号						
製品名等	加煙試験器ALKS 3 専用発煙剤 Paraffins(petroleum),normal C>10 (CAS RN:64771-71-7)						
作業内容等	加煙試験前の発煙剤充填作業、及び、加煙試験作業						
備考							
リスクアセスメント対象	☒ 吸入	☒ 経皮吸収	☒ 危険性（爆発・火災等）	性状	☒ 液体 ☐ 粉体 ☐ 気体	成分数	3

【STEP 2】取扱物質に関する情報を入力してください。

50

1 ▼

No	CAS RN	物質名	含有率 [wt%]
1	112-40-3	ノルマルデカン	10

GHS分類	ばく露限界値	物理化学的性状	揮発性／飛散性	備考
引火性液体：区分4 誤えん有害性：区分1		性状：液体 分子量：170.33 沸点：216.32℃ オクタノール／水分分配係数：6.8 引火点：74℃ 水溶解度：0.0037 mg/L	低揮発性（沸点：150℃以上）	

No	CAS RN	物質名	含有率 [wt%]
2	629-50-5	ノルマルトリデカン	55

GHS分類	ばく露限界値	物理化学的性状	揮発性／飛散性	備考
		性状：液体	低揮発性（沸	

No	CAS RN	物質名	含有率 [wt%]
3	629-59-4	ノルマルテトラデカン	25

GHS分類	ばく露限界値	物理化学的性状	揮発性／飛散性	備考
		性状：液体	低揮発性（沸	

【STEP 3】以下の作業内容に関する質問に答えましょう。

Q1 製品の取扱量はどのくらいですか。
極微量（10mL未満）

Q2 スプレー作業など空气中に飛散しやすい作業を行っていますか。
はい

Q3 化学物質を塗布する合計面積は1m2以上ですか。
いいえ

Q4 作業場の換気状況はどのくらいですか。
換気レベルA（特に換気のない部屋）

Q5 1日あたりの化学物質の作業時間（ばく露時間）はどのくらいですか。
7時間超～8時間以下

Q6 化学物質の取り扱い頻度はどのくらいですか。
週1回以上 ⇒ 5 日/週

Q7 作業内容のばく露濃度の変動の大きさなどのくらいですか。
ばく露濃度の変動が大きい作業

Q8 化学物質が皮膚に接触する面積はどれくらいですか。
両手の手のひらに付着

Q9 取り扱う化学物質に適した手袋を着用していますか。
手袋を着用していない

Q10 手袋の適正な使用方法に関する教育を行っていますか。
教育や訓練を行っていない

Q11 化学物質の取扱温度はどのくらいですか。

室温

Q12 着火源を取り除く対策は講じていますか。

いいえ

Q13 爆発性雰囲気形成防止対策を実施していますか。

いいえ

Q14 近傍で有機物や金属の取扱いがありますか。

はい

Q15 取扱物質が空気又は水に接触する可能性がありますか。

はい

備考（任意）

STEP 4 リスクの判定

	ばく露評価値（管理目標値）			推定ばく露濃度			リスクレベル			合計 (吸入+経皮)	危険性 (爆発・火災等)
	吸入 (8時間)	吸入 (短時間)	経皮吸収	吸入 (8時間)	吸入 (短時間)	経皮吸収	吸入 (8時間)	吸入 (短時間)	経皮吸収		
1	112-40-3	ノルマルドデカン									
	50～500 ppm	1500 ppm	26110 mg/day	1.2～12 ppm	72 ppm	0.0032 mg/day	I	I	I	I	I
2	629-50-5	ノルマルトリデカン									
	50～500 ppm	1500 ppm	-	2～20 ppm	120 ppm	-	I	I	-	I	I
3	629-59-4	ノルマルテトラデカン									
	50～500 ppm	1500 ppm	-	2～20 ppm	120 ppm	-	I	I	-	I	I

判定結果

有害性	濃度基準値設定物質以外の長時間（8時間）ばく露の評価結果は十分に良好です。 濃度基準値設定物質以外の短時間ばく露の評価結果は十分に良好です。 保護手袋を着用しましょう。
危険性 (爆発・火災等)	引火するおそれがあるため、着火源の除去、爆発性雰囲気形成防止対策の管理を引き続き実施しましょう。

リスクアセスメント実施レポート

- 説明 -
- リスクアセスメントシートで実施した結果が表示されます。
 - このシートでリスク低減措置の内容を検討し、労働者に周知を行います。

No	1
実施日	2025/11/25
実施者	明石

基本情報	
タイトル	楽工コ発煙剤のリスクアセスメント
実施場所	各加煙試験現場
製品ID等	評27-0001-1号
製品名等	加煙試験器ALKS3 専用発煙剤 Paraffins(petroleum),normal C>10 (CAS RN:64771-71-7)
作業内容等	加煙試験前の発煙剤充填作業、及び、加煙試験作業
備考	

No	CAS RN	物質名	含有率 [wt%]
1	112-40-3	ノルマルドデカン	10
2	629-50-5	ノルマルトリデカン	55
3	629-59-4	ノルマルテトラデカン	25

リスク低減対策の検討

※「リスク低減対策の検討」のQ1～Q15の選択肢を変更し、【再度リスクを判定】をクリックすることによって、リスク低減対策後の結果が表示されます。

設問		現状	対策後	リスク低減対策の検討		
吸入	Q1. 取扱量	極微量 (10mL未満)	極微量 (10mL未満)	極微量 (10mL未満)		
	Q2. スプレー作業の有無	はい	はい	はい		
	Q3. 塗布面積1m2超	いいえ	いいえ	いいえ		
	Q4. 換気レベル	換気レベルA (特に換気のない部屋)	換気レベルA (特に換気のない部屋)	換気レベルA (特に換気のない部屋)		
	制御風速の確認					
	Q5. 作業時間	7時間超～8時間以下	7時間超～8時間以下	7時間超～8時間以下		
	Q6. 作業頻度	5日/週	5日/週	週1回以上	5	日/週
	Q7. ばく露の変動の大きさ	ばく露濃度の変動が大きい作業	ばく露濃度の変動が大きい作業	ばく露濃度の変動が大きい作業		
	[オプション] 呼吸用保護具					
	フィットテストの方法					
経皮吸収	Q8. 接触面積	両手の手のひらに付着	両手の手のひらに付着	両手の手のひらに付着		
	Q9. 化学防護手袋	手袋を着用していない	手袋を着用していない	手袋を着用していない		
	Q10. 保護具の教育	教育や訓練を行っていない	教育や訓練を行っていない	教育や訓練を行っていない		
危険性	Q11. 取扱温度	室温	室温	室温		℃
	Q12. 着火源の対策	いいえ	いいえ	いいえ		
	Q13. 爆発性雰囲気形成防止	いいえ	いいえ	いいえ		
	Q14. 有機物、金属の取扱い	はい	はい	はい		
	Q15. 空気、水との接触	はい	はい	はい		

備考 (任意)

リスクの再判定結果

	ばく露限界値（管理目標濃度）			推定ばく露濃度			リスクレベル			合計 （吸入＋経皮）	危険性 （爆発・火災等）
	吸入 （8時間）	吸入 （短時間）	経皮吸収	吸入 （8時間）	吸入 （短時間）	経皮吸収	吸入 （8時間）	吸入 （短時間）	経皮吸収		
1	112-40-3 ノルマルドデカン										
現状	50～500 ppm	1500 ppm	26110 mg/day	1.2～12 ppm	72 ppm	0.0032 mg/day	I	I	I	I	I
対策後	50～500 ppm	1500 ppm	26110 mg/day	1.2～12 ppm	72 ppm	0.0032 mg/day	I	I	I	I	I
2	629-50-5 ノルマルトリデカン										
現状	50～500 ppm	1500 ppm	-	2～20 ppm	120 ppm	-	I	I	-	I	I
対策後	50～500 ppm	1500 ppm	-	2～20 ppm	120 ppm	-	I	I	-	I	I
3	629-59-4 ノルマルテトラデカン										
現状	50～500 ppm	1500 ppm	-	2～20 ppm	120 ppm	-	I	I	-	I	I
対策後	50～500 ppm	1500 ppm	-	2～20 ppm	120 ppm	-	I	I	-	I	I

有害性	濃度基準値設定物質以外の長時間（8時間）ばく露の評価結果は十分に良好です。 濃度基準値設定物質以外の短時間ばく露の評価結果は十分に良好です。 保護手袋を着用しましょう。
危険性 （爆発・火災等）	引火するおそれがあるため、着火源の除去、爆発性雰囲気形成防止対策の管理を引き続き実施しましょう。

化学防護手袋選定

※安衛則第594条の2（皮膚等障害化学物質の直接接点の防止規定）に基づき着用が義務付けられる不浸透性の保護手袋について、皮膚障害等防止用保護具の選定マニュアルに基づく手袋材料の耐透過性や、手袋候補を表示します。表示は入力された作業分類、作業時間を前提とした手袋の候補ですので、実態を確認の上、選択ください。

※一部の成分において耐透過性情報がない場合には、【情報なし：CAS番号 物質名】と表示されます。該当する手袋材料を選定する場合には、保護具メーカーに問合せを行ってください。

使用可能な化学防護手袋の候補	●使用可能な手袋材料の例 情報なし
	●複数回交換が必要な手袋材料の例（240分以内に交換） 情報なし
	※選定条件：7時間超～8時間以下、作業分類2 接触が限られている作業

※作業分類を選択し、【手袋候補の表示】をクリックすることによって、使用可能な化学防護手袋の候補が表示されます。

作業分類	作業分類2 接触が限られている作業	使用可能手袋	-
------	-------------------	--------	---

詳細なリスクアセスメントの実施結果

有害性			
手法	実施日	判定結果	備考

危険性（爆発・火災等）			
手法	実施日	判定結果	備考

リスク低減措置の検討結果

検討したリスク低減措置の内容、実施時期等

備考

--